

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について  
病虫害発生予察注意報第 2 号を送付します。

平成 27 年度病虫害発生予察注意報第 2 号

## 病虫害名 イネいもち病 (葉いもち、穂いもち)

1. 対象作物 水稲 (早期稲・普通期稲)
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 6 月下旬以降
4. 発生状況と注意報の根拠
  - 1) 6 月 17～23 日の巡回調査では、早期稲は県東部、中央部、中西部、普通期稲は県中央部、中西部、西部において、葉いもちが多発生となっている (表 1、2)。また、進行型病斑が見られるほ場も多く、一部ではずり込み症状も確認されている。
  - 2) 高知県版 BLASTAM (アメダスデータを用いた葉いもち感染予測システム) の判定結果では、本年 5 月 16 日に最初の感染好適条件が出現し、5 月 31 日には県内の広い範囲で出現した。また、6 月 14 日以降は感染好適条件が頻発している (表 3)。
  - 3) 四国地方の 1 か月予報によると、7 月中旬まで曇りや雨の日が多いとされるため、既発ほ場を中心に病勢が進展する可能性が高い。
5. 防除対策
  - 1) 葉いもちの発生が多い場合は、直ちに薬剤防除を実施する。なお、出穂期に葉いもちの進行型病斑が見られるほ場では、穂いもちに移行する可能性が高いので注意する。
  - 2) 穂いもちの防除適期は出穂直前および穂揃期で、薬剤の使用時期 (収穫前日数) に注意して薬剤を選定する。
  - 3) 薬剤防除に関しては、県の「病虫害防除指針」を参照し、農薬の使用基準を遵守するとともに周辺作物への薬剤の飛散に十分気をつける。  
(<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/info/dtl.php?ID=5137>)

表1 早期稲の葉いもち発生状況

	本年発生面積 (ha)	平年発生面積 (ha)	作付面積 (ha)	調査日	備考
東 部	72.7	8.1	779	6月19～22日	
中央部	453.5	87.2	3,935	6月17～23日	進行型病斑が見られる
中西部	181.9	39.7	855	6月17～23日	進行型病斑が見られる
西 部	293.0	252.3	1,831	6月17～22日	進行型病斑が見られる
県合計	1001.1	387.3	7,400	6月17～23日	

表2 普通期稲の葉いもち発生状況

	本年発生面積 (ha)	平年発生面積 (ha)	作付面積 (ha)	調査日	備考
東 部	0.0	1.8	441	6月19～22日	
中央部	58.0	29.2	1,354	6月17～23日	進行型病斑が見られる
中西部	352.9	44.4	2,520	6月17～23日	進行型病斑が見られる
西 部	66.0	24.4	1,015	6月17～22日	進行型病斑が見られる
県合計	476.9	99.8	5,330	6月17～23日	

表3 高知県版 BLASTAM による葉いもち病の感染好適条件の判定結果（一部抜粋）

	本 川	本 山	大 橋	高 知	後 免	日 章	安 芸	檜 原	須 崎	窪 川	室 戸 岬	江 川 崎	佐 賀	宿 毛	中 村	清 水
5/16	—	1	1	●	1	—	●	1	1	1	—	1	1	●	1	—
5/31	1	●	●	●	●	●	●	1	●	●	—	●	●	●	●	—
6/14	—	—	●	●	●	●	●	1	●	4	—	●	4	●	4	—
6/15	1	—	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
6/16	—	—	●	●	●	—	—	1	●	●	—	●	●	●	●	—
6/17	—	—	—	—	—	—	●	—	4	●	—	—	●	—	●	4
6/18	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—
6/19	—	●	—	●	●	—	●	1	●	—	—	—	●	—	4	—
6/20	—	●	●	—	—	●	●	1	—	—	—	●	—	—	4	—
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
6/22	—	●	●	●	●	●	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—
6/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
6/24	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
6/25	—	—	—	●	—	●	—	●	—	●	—	●	●	●	●	—
6/26	—	—	●	—	—	—	●	4	—	●	—	●	—	●	●	●
6/27	—	●	—	●	●	—	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—
6/28	—	—	●	●	●	—	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●

<BLASTAMの判定表示説明>

感染好適条件（●）：

葉面湿潤条件が充分で、湿潤時間中の平均気温が15～25℃、前5日間の平均気温が20～25℃で、これらの条件がすべて満たされるとき、葉いもちの大量感染に好適な気象条件が出現したものと判断して「感染好適日」とし、●印で表示しています。

準感染好適条件（1～4）：

葉面湿潤時間は充分であるが、その他の条件が一部不足している場合を「準感染好適日」としています。その際、判定の条件の違いを数字で示しています。1は前5日間の平均気温が19℃未満の場合、2は前5日間の平均気温が25℃を超える場合、3は湿潤時間中の平均気温が15℃未満または25℃を超える場合、4は湿潤継続時間が不足している場合に当たります。これらの準感染好適日が続いても発病が始まるので注意が必要です。

詳細および上記の期間以外の判定結果につきましては、病害虫防除所のホームページに掲載していますのでご参照下さい (<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>)。

お問合せは、環境農業推進課(TEL：088-821-4861)または病害虫防除所(TEL：088-863-1132)まで